



アグアスだより



令和7年度12月号

令和7年12月1日(月)発行

100mを10秒で走れるか

私たちが生きる社会は、多様性にあふれています。一人一人の人間は、それぞれ異なる背景や特性をもって、それが私たちの社会の豊かさを形づくっています。たとえば、100mを10秒で走ることができるかどうかという話に触れれば、これは実際に極めて難しいことであり、多くの人にとっては達成不可能な目標でもあります。それでも、世界にはそれを可能にするアスリートも存在しますが、彼らのように速く走れる人はほんの一握りです。

こうした例からもわかるように、私たちにはそれぞれできること、できないことがあります。自分にできるからといって、他の人が同じようにできるとは限りません。また、「できない」という理由でからかわれることは、多くの場合、悲しい気持ちを引き起こします。私たちが大切にしなければならないのは、互いの違いを理解し、それを尊重することです。

12月には、人権週間(12月4日～10日)があります。この期間は、私たちが人権について深く考えることが求められます。そして、世界人権デーは12月10日とされており、この日は全ての人々の権利や尊厳を再確認するための日です。アグアスカリエンテス日本人学校の子どもたちにも、この機会を利用して人権について思いを馳せ、他人を思いやる心を育ててほしいと思います。

教室には様々な特性をもつ子どもたちがいます。得意なこと、不得意なこと、さらにはさまざまな問題を抱えている場合もあるでしょう。そんな子どもたちの中には、自分自身の解決策を見出せずに困っている子もいます。私たち学校は、できる限り、一人一人に寄り添い、問題解決に努めていますが、中には学級内で解決できない課題も存在します。その際には、学年部や学校全体で考え、最善の手を尽くしていきます。

文部科学省は特別支援教育について、「子ども一人一人の教育的ニーズを把握し、そのもてる力を高め、生活や学習上の困難を改善または克服するため、適切な指導及び必要

な支援を行うもの」と定義しています。この定義は、特別支援教育に限らず、全ての子どもたちに当てはまる重要な考え方です。

学校は、子どもたちがもつ力を最大限に引き出し、それを生かして、将来自立して生きていけるよう、今できる限りの手段を保護者の皆様とともに考えているつもりでいます。アグアスカリエンテス日本人学校では、保護者や理事会などの皆様の御理解をいただきながら、これからも、一人一人の子どもにとってより良い環境を提供できるよう努めてまいります。

前期後半から後期前半にかけて、本当に長い期間でしたが、間もなく終わりを迎えようとしています。この期間には、運動会や学習発表会など、さまざまな行事を通じて子どもたちの成長を感じることができました。保護者の皆様の御協力や応援には、心から感謝しています。学校の活動に対する理解や支えは、私たちの教育活動をより豊かなものにしてきています。今年もありがとうございました。

(校長 山下 繁樹)

道徳の取組について

文部科学省は、道徳教育について、「道徳教育は、児童生徒が人間としての在り方を自覚し、人生をよりよく生きるために、その基盤となる道徳性を育成しようとするもの。」と明記しています。本校でも、文科省が定める道徳の実施時間数年間35単位時間(小1は34単位時間)を元に、一週間に一度のペースで道徳の授業を行っています。子どもたちの学校評価アンケートでは「道徳の授業内容がよくわかる」と肯定的に答えた児童生徒が97%とかなり高い数値が出ています。

「授業は生き物」と先輩の先生から教えてもらいましたが、道徳の授業はまさに思い通りにいきません。そこが興味深い部分であり、子どもたちの新しい姿や私たちが思いもよらな

い発想が出てきて驚く部分でもあります。「あまりよくわからない」と答えた3%の子どもたちも、答えの無い部分、自分の思いとは反対に進んでいくことがある道徳の学習に対して、戸惑いを感じているのではないかと考えています。

本校が使用している「光村図書」の小学2年生の教科書に「雨ふり」という教材があります。ある雨降りの日、大きな傘を持っているふみおさんのところに、のりこさんと、ひろみさんが傘に入れてほしいとお願いにきます。ふみおさんは、ひろみさんとあまり仲良くないため、嫌な顔をして、「のりこちゃんはいいいけど…」と言うと、のりこさんが「じゃいいわ。」とひろみさんと二人で帰っていくというお話です。

教材文を読んで、2年生の子どもたちは、「入れてあげるべき」と答えた子が大半を占めました。入れてあげるべきに手をあげた子どもからは「入れてあげないのはやさしくない。」「少しくらい濡れても大丈夫。」「直接言われるとひろみがかわいそう。」と意見が出る中で、入れたくないと答えた一人の子が「幼稚園の時、本当に嫌なことをする友だちがいました。仲良くしようとしても無視をされたり、違う友だちと遊びにいったり、その子に入れてって言われたら絶対断ります。」と発表しました。すると、今まで入れてあげるべきだと強く伝えていた子どもたちが、「やっぱり入れない。」「わたしもその気持ちがおそろい。」と気持ちが変容し、最終的に6名と7名で意見が分かれました。

本教材の内容項目は「公正・公平・社会正義」です。目標としては、分け隔てなく、みんなと仲よく過ごすことの大切さを身に付けることですが、幼稚園の時に、嫌なことをされたという経験から、多面的・多角的に考えを広げられることや、教材文や友だちの意見をから考えが変容することが道徳教育の根源です。ですから、自分の意見をみんなの前で伝えられたことは大変素晴らしいことだと考えています。ただその中で、自分と全く違う意見の良い点に着目したり、幼稚園の時に嫌なことをした友だちと今の自分は同じになってはいないだろうか、と自分を振り返ることなども、道徳教育、そして、学校教育で育てていくべき大切な部分であると考えています。

今回の授業で明らかになったように、過去に辛い背景をもつ子どもたちが他にもいることは十分考えられます。辛い

経験を自らの人間性を高める糧とし、周りの人と気持ちよく生活する方法を、道徳の授業や日常生活を通して学んでいきます。周りの友だち、教職員、そして保護者のみなさまと力を合わせて、子どもたちの道徳性をさらに高めていけるよう、道徳教育に一層力を入れてまいります。

(道徳教育担当 鶴谷 剛士)

12月・1月行事予定

- 12月 1日(月) 全校朝会
 - 2日(火) NISSAN 工場見学(小5・中1)
PTA 図書貸出
 - 3日(水) 後期クラブ④
 - 4日(木) ピンヤータ割り(昼休み)
 - 5日(金) 後期委員会⑤
 - 9日(火) 全校レクリエーション
PTA 図書貸出
 - 10日(水) 個別面談(~12日)
中3進路懇談(~12日)
 - 15日(月) 中3進路懇談予備日
 - 16日(火) PTA 図書貸出
 - 17日(水) 後期クラブ⑤
 - 18日(木) ブロック朝会
 - 19日(金) 大掃除
 - 20日(土) 冬休み(~1月12日)
 - 22日(月) 補充学習(23日、1月12日)
 - 1月 13日(火) 全校朝会・PTA 図書貸出
 - 14日(水) 書き初め会・お正月の集い
 - 15日(木) 小学部 CRT 学力検査(~16日)
 - 16日(金) 中学部実力テスト
 - 17日(土) 数検
 - 19日(月) パルケマラソン試走
 - 20日(火) 防災訓練(火災)
PTA 図書貸出
 - 21日(水) 後期クラブ⑥
 - 22日(木) 全校お弁当
- ※23日以降は1月号に掲載します